

VIVA 100KING!



目的・場面・状況を意識した活動の設定に悩んでいるという声をよく耳にします。そこで、今号では「目的・場面・状況をどのように設定するか」というテーマで、お二人の小学校の先生に実践紹介をしていただきます。まず初めは、神奈川県海老名市立今泉小学校・有鹿小学校で統括教諭をされている石川雄一郎先生の実践紹介です。また、そのご紹介について、酒井英樹先生よりご講評をいただきました。

はじめに

外国語が教科化となり、小学校現場では様々な実践が行われている。しかし、全く新しいことばかりかといえ、そうではない。例えば、「時間割を作る」といった授業は、『英語ノート』や *Hi, Friends!* の時代からあり、私たち小学校教員にとっても馴染みのあるものである。現行の教科書を見比べると、時間割や教科に関する語彙・表現は、いずれも第5学年時に学習する内容として設定されていて、*Let's Try! 2* の学習をふまれば、昔より円滑に指導できるようになっているともいえる。

教科化になり大きく変わったことのひとつに、数値評価をすることが挙げられる。評価の観点が3つに整理されたことも大きな変化といえるが、3観点になる前までの慣習がない外国語科は、以前までのやり方と混同しなくて済むという意味で、他教科より評価しやすい教科といえるだろう。しかし、「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて」という点については、他教科の指導・評価とは違う難しさを小学校現場では感じている。

今回は、冒頭にも述べた「時間割を作る」という単元での指導記録を通して、「目的や場面、状況など」の価値や効果を紹介したい。

単元の最終活動

単元の指導計画は、バックワードデザインで設計していく。身につけさせたい力を明確にし、それを発揮できる単元の最終活動を設定したうえで、逆向きに毎時間の本時目標を決めていく。つまり、ゴールからの逆算である。

単元の指導計画簡易表

時	本時目標
1	単元全体の概要をつかみ、新出語彙にふれる
2	好きな教科の尋ね方と伝え方を知る
3	各曜日の時間割を尋ねあう
4	単元の最終活動を確認し、発表の見通しをもつ
5	自分だけの時間割を作る
6	自分だけの時間割を紹介する
7	記者会見に向けて、発表内容を調整する
8	自分の考えを伝えるために、自分で考えたオリジナル教科などを含む時間割について、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表する

本単元における単元の最終活動として「未来にはばたく子どもたち」というテーマで、自分の夢とからめた時間割を記

者会場で発表するという場面を設定した。これは、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや思いを整理しながら表現させるためである。また、現実世界の課題と類似した本物らしさ（真正性）をもつ課題に取り組ませ、それを評価する「パフォーマンス評価」をするためでもある。筆者の勤務校がある海老名市は市制50周年であり、コロナ禍でも行える活動や行事にふれている児童にとって、この場面は本物らしく感じることができるものである。また、大勢の記者（子どもたち）が場において、背景幕やカメラ等がある状況は、本物らしく感じさせるためだけでなく、発表自体を楽しませることにもつながる。



（授業者である担任の先生が目的や場面、状況を伝えている）

第1時目に、単元全体の学習の流れや第8時目に本単元の言語材料を使い発表をする場があることは伝えたが、第8時目の最終活動におけるコミュニケーションの目的や場面、状況などを子どもたちが理解するのは第4時目とした。これは、子どもの特性のひとつである「中だるみ」を防ぐためである。単元の第1時目に最終活動での目的や場面、状況を理解できたとしても、第8時目に至るまでずっと意識続けられない子もいるということである。また、第4時目までに複数の場面、状況での言語活動を新鮮な気持ちで体験させるためでもある。「担任の先生から急な時間割変更を聞かされている場面」「友だちが明日の時間割を書き忘れてしまい困っている下校場面」「就寝前にお家の人から翌日の支度を確認される場面」など、多様な場面、状況で本単元の言語材料にふれることにより、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を育成できると考えた。

目的の見える化

『小学校学習指導要領解説』にあるとおり、目的に応じて発信するまでの方向性を決定したり、目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行ったりすることは重要である。ただし、授業者から機械的に目的を与えられただけでは、子ど

もたちの心は動かない。コミュニケーションの場面、状況などから、子どもたちが自分事として目的を感じられるようにすると、コミュニケーションに現実味が出てくる。そのためには、授業者自身が他教科等で培った発問の技術を使い、目的自体について子どもたちの考えを引き出したり、記述させたりすることを通して気づかせるとよいだろう。さらに、「どうして英語でスピーチする必要があると思う？」といったことを子どもたちに問い、外国語科の教科としての特性や活動の必然性を高めるとよい。「Zoom で世界に発信するからだ」や「外国からも取材が来ているかもしれない」と、子どもたちは授業者が設定した場面、状況を基に想像力を働かせ、それぞれの答えを見つけることができる。

発表の具体とまとめ

C1: My dream is (to be a) scientist. This is my dream schedule. I have social studies, math, science, science, English, and moral education. I like (to do) experiments. Thank you.

C2: My dream schedule is English, home economics, math, Japanese, P.E., and physical training. I like soccer. I like running. Thank you.

C1の子どもは、本単元で学習した表現と既知の外来語であるサイエンティスト、そして自分で調べてきた experiments という語を組み合わせで発表することができた。自分自身が本当に言いたい言葉、伝えたい思いが数回にわたる発表内容なので、自然と表情も柔らかくなっていた。C2の子どもは、未来の自分を思い浮かべた結果、様々な教科の学習が今の自分に必要だと考えて発表内容を構成することができた。また、「体幹トレーニング」というオリジナル教科を入れた発表にしたいと、ALTに相談したうえで発表の場に臨んでいた。

目的や場面、状況などは、数値評価するためだけでなく、子どもたちの豊かな外国語でのコミュニケーションの助けになるものである。今回紹介した授業を昨年度受けた第6学年の子どもが、初めて出会う ALT への自己紹介の場面で「6時間全て体育というのが私の夢の時間割だ」と英語で冗談を言い、笑いをとっていた。既習の言語材料や経験を使って「初めて本校に来る ALT を温かく迎えよう」という目的を達成している姿に、筆者はたいへん驚かされると同時に胸が熱くなった。機械翻訳だけでは辿り着けない、生きたコミュニケーションの力を高めていけるような外国語科の授業を、これからも続けていきたい。



石川雄一郎 (いしかわ ゆういちろう)

神奈川県海老名市立今泉小学校・有鹿小学校の総括教諭。2校の外国語専科を兼務しつつ、英語授業研究会等での実践発表等を行う。研究テーマは「小学校教員がする外国語教育と教員研修」「無理なくできる総括的評価」。令和2年度 ELEC 英語教育賞を受賞。



コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定することがなぜ重要なのか。第一に、目的や場面、状況などに応じて、外国語でのコミュニケーションにおける「思考力、判断力、表現力等」が働くからである。目的や場面、状況などを考慮しながら、伝える内容を考え（思考）、選び（判断）、どのような順で伝えるのかを決め（判断）、どのように伝えるのかについて工夫する（表現）ように指導する必要がある。第二に、目的意識を持つことによって、児童が主体的に学習に取り組めるからである。目的意識を持ち、見通しを持ったり方向性を決めたりして言語活動に取り組み、さらに言語面（「知識及び技能」の側面）・内容面（「思考力、判断力、表現力等」の側面）から自らの学びを振り返る。目的や場面、状況などを設定することによって、このような学習過程の実現が図られる。石川教諭の実践においては、この2点が意識されている。

目的や場面、状況などを設定する際には、児童が親しみを持てるようにすると、意欲をもって取り組むことができる。本実践では、海老名市の市制 50 周年に伴い、「未来にはばたく子どもたち」をテーマにした記者会見という場面設定がされており、身近で具体的な場面が設定されていてよい。また、目の前に大勢の記者（子どもたち）がいて、背景幕やカメラが設置されているという状況も設定されている。この状況の中では、記者たちが聞きやすいように大きな声で発表したり、記者たちの反応を見ながら語句や表現を繰り返したり説明を加えたりするなどの表現の工夫が必要となる。

目的や場面、状況などに応じて「思考力、判断力、表現力等」を指導するためには、異なる目的や場面、状況などを設定し、それぞれに応じて内容を考えて選んだり、伝える順や伝え方を変えたりすることを経験することが役に立つ。石川教諭は、単元の中で、「担任の先生から急な時間割変更を聞かされている場面」、「友だちが明日の時間割を書き忘れてしまい困っている下校場面」、「就寝前にお家の人から翌日の支度を確認される場面」など異なる目的や場面、状況などを設定して言語活動を行っている。例えば、友だちに対して時間割を伝える下校場面では、一時間目から順に伝え、友だちがメモできるようにゆっくりと伝えの方が適切であると思われる一方で、時間割変更の場合には一時間目から順に伝える必要はない。また、翌日の支度を確認するために時間割を伝える場合には、カバンの中の教科書などを示しながら時間割を伝えることが適切である。「〇〇の場合には、何をどう伝えの方がよいと思うか。その理由は？」と児童に問いかけて、どのような内容と考えたらよいか、どのように内容を整理するとよいか、どのように伝えるとよいかについて、考えさせるとよい。

酒井英樹 (さかい ひでき)

信州大学学術研究院教育学系教授。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語ワーキンググループ及び言語能力の向上のための特別チーム委員を務めた。小学校英語教育学会理事、日本児童英語教育学会理事。

目的・場面・状況をどのように設定するか②

続いては、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校の乗富智子先生の実践紹介です。石川先生には、1 単元での「目的・場面・状況の設定の仕方」を紹介していただきましたが、乗富先生にはひとつの学期間での設定の仕方を紹介していただきます。ここでも、最後に酒井英樹先生よりご講評をいただきました。

はじめに

CROWN Jr. では、学期ごとに最終的な言語活動が JUMP として位置づけられており、各 Lesson で積み重ねた学習が JUMP へとつながるようになっていきます。言語活動の目的・場面・状況を設定する際、私が大切にしていることは二つあります。一つは、単元の目標（ねらい）に合わせたゴールを設定すること、もう一つは子供の実態や教師の願いをゴールに反映させることです。私は現在 6 年生の学級担任をしていますが、担任として子供たちと日々過ごしていると、「もっとこうなってほしい」「こんな力をつけてほしい」と感じることがあります。教師として、子供にどのような姿になってほしいのか、教師の子供への願いを具体的に思い描き、それをゴールに生かすことで、より子供の実態に合わせた言語活動が設定できると考えています。

実践：

JUMP(Presentation 3) I want to be a... 20年後のわたしはきっと…

CROWN Jr. 6 3学期の JUMP は「将来どんな職業につきたいかを、理由とともに伝えよう」となっており、将来の夢について友達と伝え合ったり動画を撮影したりする言語活動が設定されています。

ゴールの設定

本単元のねらいは「互いの夢を知り、卒業してから互いに応援し合い支え合うために、将来つきたい職業について、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えたり、伝え合ったりすることができる」です。このねらいを達成するために、20 年後の自分の姿を思い描き、タイムカプセルを作って 20 年後の自分に向けてメッセージを送るという言語活動を設定しました。

昨年度（2020年）は子供たちにとって特別な一年でした。コロナ禍で休校、分散登校が続く、楽しみにしていた学校行事も中止や延期を余儀なくされました。そんな中、子供たちは運動会を開催する提案書を作って校長先生に直談判をしたり、手洗い励行の動画と歌を作って全校に流したりと、自分たちでできることを見つけ、知恵を出し合い、様々な挑戦をしていました。そのような子供達の姿を見て、私は「今は苦しいかもしれないけれど、子供たちの未来はきっと明るい。自分の将来に希望を持ってほしい」と願い、単元のゴールを「20 年後に開けるタイムカプセルを作ろう」と設定しました。

目的・場面・状況の提示

まず HOP で 3 学期全体の見通しをもちました。ゴールを提示する前に、「20 年後の世界はどうなっていると思う？」と子供に問い、20 年後、社会がどのように変化しているかを話し合いました。さらに 2040 年の社会を想定した動画を見せ、テクノロジーが発達している様子や人とロボットが共生している様子を知り、20 年後の社会を具体的に想像できるようにしました。また、デジタル教科書にある動画を活用してほかの子どもたちの将来の夢を聞かせ、「将来つきたい職業」というトピックを確認しました。その上で「20 年後に開けるタイムカプセルを作ろう」というゴールを示し、子供が活動の目的を理解できるようにしました。このゴールの場合、コミュニケーションの相手は「20 年後の自分」となります。そこで、「20 年後の自分に何を伝えたいか」と尋ねると、子供たちは「将来どんな職業についているか聞きたい」「12 歳の今、頑張っていることや好きなことを伝えたい」「20 年後の自分に頑張れって伝えたい」などと、20 年後の自分に向けたメッセージを考えていました。

JUMP では、子供たちは思い思いのメッセージを将来の自分に向けて話していました。

Hi. How are you?
I want to be a scientist. I like experiments.
I want to study physics. I want to do my best.
Thank you.

Hello. My name is XX.
I want to be a doctor. I want to help people.
I'm good at swimming. Do you like swimming?
I like comics.
Do your best.

Hello. How are you? I'm 12 years old.
I like manga. My favorite manga is XX.
Do you remember it?
I like cars. I want to be a motor journalist.
See you.

トピックである将来の夢だけではなく、今の自分が好きなものや得意なこと、20 年後の自分に質問したいことなどについて、これまでに学習した表現を使って話している姿が見ら

れました。「20年後に開けるタイムカプセルを作る」という目的を設定したことにより、将来なりたい職業に加えて様々な内容を考え、適切な表現を選んで話すことができました。

目的意識を継続するためのふりかえりの活用

CROWN Jr. では学期末の時期に JUMP が設定されているため、各 Lesson の学習の中でも HOP で持った JUMP への意識を途切れさせないことが大切です。そこで、私は毎時間末に行うふりかえりを活用し、JUMP への意欲を高めるようにしています。ふりかえりでは本時のねらいの到達度と、単元のゴールに対する到達度を自己評価させています。単元のゴールに対する現時点の自分の学習状況を視覚的にわかるように図で表し、その位置にした理由と、次にながめたいことを記述します。ゴールに対する自分の学習状況をふりかえることで、自分の学びを客観的にふりかえり、次の学習に意欲的に取り組むことができるようにしました。

ふりかえり
・職業を、He / She is a(n) ~. を使って言うことができましたか。 (YES / NO)
・みなさんが、将来つきたい職業は何ですか。 パイロットとせんぱい
本日のゴール達成度 (この辺! というところニコちゃんマーク◎を書いてね)
◎ タイムカプセルをつくる
その理由は? 少しずつでも文章がわかってきたから。
次にながめたいことを書きましょう
カードで書いておきたい職業は自分の職業の場合ほとんどをわかってる。

ふりかえり
・自分のつきたい職業を伝えることができましたか。 (YES / NO)
・友達をつきたい職業がわかりましたか。 (YES / NO)
本日のゴール達成度 (この辺! というところニコちゃんマーク◎を書いてね)
◎ タイムカプセルをつくる
その理由は? 手紙をつきたい職業について書くことができてから。
次にながめたいことを書きましょう
カードで書いておきたい職業は自分の職業の場合ほとんどをわかってる。

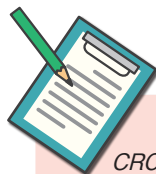
その他の言語活動例

本実践では、言語活動は友達と自分の将来の夢を伝え合う活動やスピーチの動画を撮影する活動を行いましたが、中学校生活のトピックに関連した言語活動にすることも可能です。「中学校の先生に中学校で頑張りたいことを伝えよう」というゴールを設定し、中学校の先生にビデオメッセージを送る活動を行ったこともあります。この活動では、「将来の夢を叶えるために中学校ではこんなことを頑張りたい」と話す子もいれば、「中学校で部活動を頑張りたい」と話す子もいました。伝える相手が「中学校の先生」と明確であり、「中学校で頑張りたいこと」という子供にとって身近な内容でもあるため、相手意識、目的意識をもちやすい活動となりました。



乗富智子 (のりとみ さとこ)

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校教諭。金沢市内公立小学校勤務を経て現職。



CROWN Jr. は、HOP → STEP → JUMP を一つの Unit (大単元) としてまとまりをつけ、児童が JUMP におけるゴールの言語活動に向けて目的意識を持ち、語句や表現を学ぶことができるようにしている。目的や場面、状況などを設定するだけでなく、乗富教諭が工夫されているように、ふりかえりカードを活用して JUMP への意欲を高めるようにするとよい。ほかにも、授業の最初に、Unit の目標と本時のねらいの両方を示したり、HOP → STEP → JUMP の流れを図示して本時の位置を示したりするなどの工夫が可能である。

さらに、乗富教諭は、児童の実態だけでなく教師の願いも考慮して、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定するという工夫をしている。このように設定された目的や場面、状況などに応じて、児童は「思考力、判断力、表現力等」を働かすことができる。例えば、児童の英語を見てみると、Do you remember it? という表現を用いて将来の夢だけではなく現在の自分の様子(好きなものや得意なこと)を伝えたり、Do you like swimming? のように将来の自分に尋ねたりなど、目的や場面、状況などに応じて内容を考えている姿が確認できる。

ここでコミュニケーションを行う目的や場面、状況とは何かについて確認したい。コミュニケーションを行う目的とは、何のために聞いたり読んだり話したり書いたりするのかという情報である。例えば、シャツを購入するかどうかを決めるために、値段を聞いたり色を聞いたりする場合には、「シャツの購入を決断するために」が目的となる。タイムカプセルを作る目的としては、「20年後の自分を励ますために」、「20年後の自分に昔のことを思い出してもらうために」などが考えられる。「思考力、判断力、表現力等」の育成を意識するなら、目的が変わると伝える内容や伝え方などが変わるような目的を設定するとよい。

コミュニケーションを行う場面とは、簡単に言えば、場所や時に関するものである。例えば、Small Talk を行う際、「デパートの中で偶然出会った場面で」、「下校中で」という場面を設定することで、挨拶をして駆け寄ったり、手に持っている(と想定される)買い物袋について話をしたり、歩きながらやり取りしたりするなど、児童が工夫している姿を見たことがある。場面設定が、「思考力、判断力、表現力等」の活性化に貢献していることを示すものである。場面に関しては、小学校学習指導要領の「言語の使用場面」を参考にするとよい。その際、場面によっては、特定の表現が用いられることがあることに気をつけたい。どのような表現を用いるのが適切かを意識させることも重要である。

コミュニケーションを行う状況とは、コミュニケーションが行われる物理的環境や心理的な条件のことである。例えば、「ペア」で「ICT の端末を使いながら」伝え合うのと、「クラスの前」で「何も使わずに」伝え合うのでは、伝える内容や伝え方が異なる。また、「どのような相手に」伝えるのかという条件も、状況に含まれるものと考えられる。

英語の活動に欠かせない「読み」と「書き」が困難なケースに絞ってご紹介します。障がいの診断の有無に関わらず、通常学級の児童にも潜在する特徴でもあるので、注意深く児童を観察してみてください。

英語の読み書きの苦手さを認め、受け入れる

- ・ローマ字がなかなか定着しない
- ・アルファベットやつづりを覚えることが苦手そう

このような特徴の児童が、通常学級に在籍していませんか？
その子は、もしかしたら読み書きが苦手で、授業中はつらい思いをしているかもしれません。つづりの誤りばかりを注意すると、彼らは追い込まれ、英語嫌いになってしまうかもしれません。

英語圏では、英語の読み書きが定着しない障がい「ディスレクシア」が、人口の1割を超えともいわれています。この障がいは、本人の努力では解決が難しいとされています。日本ではまだ浸透していないですが、英語圏では障がいとして診断され、配慮や支援の対象とされています。配慮内容は、ICT 端末による音声読み上げや、英文の文法ミスやスペルミスを修正してくれるソフトを使ったタイピング回答という合理的配慮が、公の試験の場などでも推奨されています。

そのような子どもたちに、日本の小学校ではどのような指導方法が考えられるでしょうか。

1人1台端末があるからこそできる実践

Windows パソコンや iPad には「音声読み上げ機能」が、搭載されています。この機能を使うことで、端末上の英語の単語や文など、全てを機械音声で聞くことができます。また、「音声入力機能」も搭載されています。これにより、話したことを、英単語や英文に書き表すことができます（各端末の使い方は以下のとおりです。なお、機種や OS のバージョンにもよります）。この2つの機能を使った実践を右段でご紹介します。

Windows 版

読み上げ：イマーシブリーダー（Word 2019 以降に標準搭載）、WordTalker（有料）

音声入力：タッチキーボード左下のマイクボタン

iPad 版

読み上げ：設定＞アクセシビリティ＞読み上げコンテンツ＞選択項目の読み上げをオンにする

音声入力：キーボード左下のマイクボタン

実践例

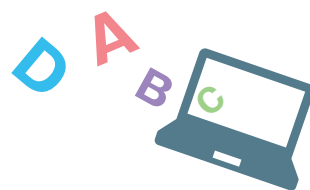
授業で、教科書のスキットを書き表す場面があったとします。スキットがうまく口頭で表現できれば、端末が子どもの声を聞き取ってアルファベットで表してくれます。さらに、読み上げ機能を使って内容を確認することが可能です。手順は以下の通りになります。

- ①スキットを各自が口頭で練習。
- ②文字入力画面を立ち上げ、ICT 端末の「マイクボタン」をオンにして、端末に向かってスキットを話す。
- ③ICT 端末の「読み上げ」機能により、音声化させて内容を確認する。

この一連の手順により、英語の読みやつづりの定着が難しい児童でも、ICT の力を借りて英文を文字で書き表していくことが可能となります。

期待される効果

この活動を取り入れることにより、アルファベットが定着しない子どもでも、「英語を文字で表現できる、書いてあることがわかる」ということを体感することができ、英語学習に対する興味やモチベーションを呼び覚ますことに繋がります。英語が苦手な子は、子ども自身だけに任せると、英語と向き合えなくなってしまうかもしれません。しかし、この活動では気軽に文字に触れることができるため、文字に触れる機会が増え、結果として文字学習自体を促すことに繋がることが期待されます。たとえ英語の読み書きが困難でも、いまの時代だからこそできる学習法を取り入れ、そのような子どもたちに等しく英語学習の機会が与えられるようになることを願っています。



村田美和(むらた・みわ)

高崎健康福祉大学人間発達学部・講師。読み書きと ICT による合理的配慮について研究、近年は英語の読み書きの困難さに対するアセスメントについて実践及び研究を行っている。



VIVA 100KING!

我輩は 100KING。100 円 SHOP は教材やお助けグッズの宝庫。今回はマイクを紹介するぞ。

「マイクなんていったい英語の授業のどんな場面で使うのか」じゃと？ それはな、一人ひとり発表するときに使うんじゃ。たとえば、子どもたちをグループにわけて、グループごとにひとりずつ順番に発表させる活動をするとするじゃろ？ そんなとき、発表する子どもにマイクを持ってもらうんじゃ。そうすると、聞いている子どもたちは、次に誰が話すか一目でわかって、発表する子どもに注目することができる。それだけじゃないぞ。次に発表する子どもにマイクを渡すとき、すこおーしだけ時間がかかる。その間に、聞いている子どもたちは、前の発表者が言ったことを理解する時間が確保できるという利点もあるぞ。

ほかにも、インタビュー活動にも使えるぞ。プロのレポーターになったみたいで盛り上がること間違いなしじゃ。

マイクを活用して、楽しく活動しておくれ。

ちゃり〜ん。値段はもちろん 100 円。お得じゃの。また会おう。ふおっふおっふおっ。

「スタジオの 100QUEEN さん、現場からは以上です」 なんつっての。



〈お問い合わせ先〉

DAISO : <https://www.daiso-sangyo.co.jp/>
ステージマイク



伝統と信頼の「初級クラウン」がリニューアル! 新中学生の英語学習に最適!

中学校に入ってからすぐに役立つ辞書は卒業記念品にぴったり!!

三省堂の名入れ辞典

お求めやすい価格の
卒業記念用特製版をご用意しております。

校名箔押しサービス
致します!!

詳しい内容
申込方法は
こちら▼▼



箔押しサンプル

令和3年度
卒業記念
桜ヶ丘小学校



ジュニアクラウン
中学英和辞典
第14版 **特製版**

田島伸悟・三省堂編修所[編]
B6判 オールカラー 928ページ
定価**1,200円** (本体 1,091円+税10%)



ジュニアクラウン
中学和英辞典
第12版 **特製版**

田島伸悟・三省堂編修所[編]
B6判 オールカラー 640ページ
定価**1,200円** (本体 1,091円+税10%)

2022年4月
サービス提供開始予定

辞書のWebアプリが使える特典付き!

GIGA
スクール構想
対応

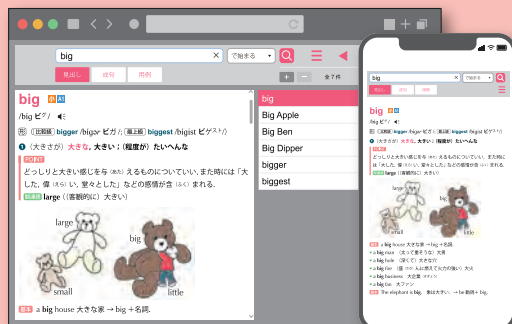


+



さらに使いやすく
さらに深める

Webアプリだから、どんなデバイスでも!



Chromebookを活用している学校現場でも!

ChromebookはGoogle LLCの商標です。

音声が入れるから、
リスニングやスピーキング
の力がつく!

big **big**
/big ビグ/ **big**
形 (比較級) bigger ビギラ; (最上級)

再生できる音声(例)
小学・中学必修語
発音のしかた ほか

ことまな+
Kotomana

カンタン2ステップ

① ID設定
② 辞書に封入の
シリアルコード入力

- ご利用にはインターネットへの接続が必要です。
- 1つのシリアルコードにつき、1ユーザーのご利用となります。
- スマートフォンやタブレット端末のご利用は、保護者や先生がたのご指導のもと行ってください。
- 画面は現在開発中のものです。変更となる可能性があります。

三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

2020年度版小学校英語教科書サイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>

三省堂

〒101-8371

東京都千代田区神田三崎町 2-22-14 TEL (03) 3230-9411 (編集)・9412 (営業)